



自分や家族の過ごす部屋を安全にする

1995年に起きた「阪神・淡路大震災」では、家は無事だったけれど、家具の下敷きになって亡くなった方が大勢いました。

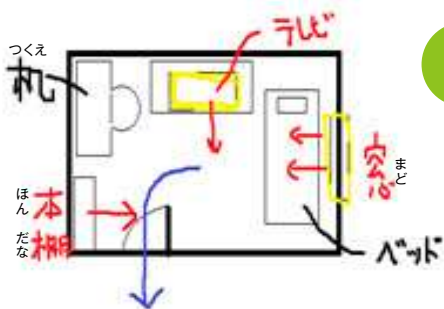
もし、足や頭にけがをしたら、津波や火事から逃げたくても、逃げるできません。

まず、自分や家族の過ごしている部屋が安全かどうか確認してみましょう。



【確認するポイント】

1. 固定されていないタンスや本棚、天井の照明器具があるか。
2. 窓ガラスや戸棚のガラスは飛散防止対策（強化ガラスに替える、フィルムを貼るなど）をしているか。
3. 脱出路は確保できるか。（部屋から出る方法は複数ありますか。ドアの近くに、邪魔になりそうな家具などありませんか。）



れい
例

きさい ほうほう
(記載の方法)

- ① 各部屋の上から見た図を描きましょう。
- ② 転倒、落下、飛散するものを黄色で塗りましょう。
- ③ 危険が生じやすい方向を赤色の矢印で示しましょう。
- ④ 脱出経路を青色の矢印で示しましょう。

★部屋を安全にするための対策について、家族で話し合い感想を書きましょう。